

2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) について

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会

2022年1月

これまでの取組み



2017年 2018年 2019年 2020年 2021年

4月 9月 11/23 1月末 4月 10月 12月 2月 7/13 8/25 9/16 12/1 12/21 12/25 3/4 8/19 9-10月 10月-3月末

ドバイ博（登録博）

民間パビリオン出展募集

出展参加説明会

基本計画説明会

※万博開催に必要な事業の方針や
考え方をまとめた協会のマスタープラン

基本計画策定・公表（協会）

基本方針を閣議決定（国）

BIE総会（登録申請書の承認）

博覧会推進本部が発足（国）

ロゴマークの決定

プロデューサーの選定

アンバサダーの発表

登録申請書をBIEへ提出 ※各国へ示す実行計画

BIEへの登録申請に係る閣議決定

シニアアドバイザーの設置

公益社団法人移行

万博特措法の成立

一般社団法人
2025年日本国際博覧会協会設立

開催国決定

立候補申請文書（ビッド・ドシエ）をBIEへ提出

万博立候補及び開催申請について閣議了解



ロゴマークの決定
(アンバサダー 松本幸四郎氏)

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要①



● 役員構成：(2022年1月1日時点/敬称略)

| | | |
|--------------------|------------|--|
| 会長 (代表理事) | 十倉 雅和 | 一般社団法人日本経済団体連合会会長 |
| 事務総長 (代表理事) | 石毛 博行 | 前独立行政法人日本貿易振興機構理事長 |
| 副会長 (理事) | 松本 正義 | 公益社団法人関西経済連合会会長 |
| | 古市 健 | 一般社団法人関西経済同友会代表幹事 |
| | 家次 恒 | 神戸商工会議所会頭 |
| | 櫻田 謙悟 | 公益社団法人経済同友会代表幹事 |
| | 松井 一郎 | 大阪市長 |
| | 國部 毅 | 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 財務委員会委員長 |
| | ウスビ・サコ | 京都精華大学 学長 |
| 理事 | 池坊 専好 | 華道家元池坊 次期家元、一般財団法人池坊華道会副理事長 |
| | 生駒 京子 | 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事、株式会社プロアシスト 代表取締役社長 |
| | 小川 理子 | パナソニック株式会社 テクニクスブランド事業担当参与、関西渉外・万博担当参与 |
| | ロバート キャンベル | 早稲田大学 特命教授 |
| | 栗原 美津枝 | 公益社団法人経済同友会 副代表幹事、株式会社価値総合研究所 代表取締役会長 |
| | 佐野 真由子 | 京都大学大学院教育学研究科 教授 |
| | 高橋 政代 | 株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 |
| | 武内 紀子 | 一般社団法人日本経済団体連合会 審議員会副議長、株式会社コングレ 代表取締役社長 |
| | 寺田 千代乃 | アート引越センター株式会社 名誉会長 |
| | 野崎 治子 | 公益社団法人関西経済連合会 スポーツ振興委員会 委員長、株式会社堀場製作所 理事 |
| | 長谷川 眞理子 | 国立大学法人 総合研究大学院大学学長 |
| | 廣瀬 恭子 | 大阪商工会議所 副会頭・女性会会長、株式会社広瀬製作所 代表取締役社長 |
| | 福本 ともみ | サントリーホールディングス株式会社 顧問 CSRアンバサダー |
| 副事務総長 (理事) | | |
| | 前田 泰宏 | 前中小企業庁長官 |
| | 竹内 廣行 | 前大阪府副知事 |
| | 櫛 真夏 | 前公益社団法人関西経済連合会常務理事 |
| 監事 | 小原 正敏 | きっかわ法律事務所 代表弁護士 |
| | 中務 裕之 | 中務公認会計士・税理士事務所所長、公認会計士・税理士 |

- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

| | |
|--------|--|
| 名称 | 2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博） |
| テーマ | いのち輝く未来社会のデザイン |
| サブテーマ | Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ） |
| コンセプト | People's Living Lab（未来社会の実験場） |
| 会場 | 夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区） |
| 開催期間 | 2025年4月13日～10月13日 |
| 想定来場者数 | 約2,820万人 |





グリーンワールド

- ・会場の西側の海に面した緑地エリア。
- ・屋外イベント広場や交通ターミナル、エントランス広場等、大人数が滞留することのできる開けた空間とする。

パビリオンワールド

- ・パビリオン等の施設が集まるにぎわいのエリア。主動線としてリング状のメインストリートと離散的に大小の広場を設け、ここからすべてのパビリオンにアクセスできる。
- ・メインストリートの上部には大屋根（リング）を設置。
- ・メインストリートから離れた位置に樹木を配した広場（静けさの森）を作り、これにつながるようテーマ館が配置される。

ウォーターワールド

- ・水景を活用した憩いのエリア。水辺に面して飲食施設を配置するとともに、水上イベントの舞台としても活用。

テーマの実現に向けて

- 万博の目的であるテーマの実現に向けて、事業のガイドラインであるPeople's Living Lab（未来社会の実験場）というコンセプトのもと、「世界との共創」「テーマ実践」「未来社会ショーケース」の3つを実施する。

意義

- ・ いのち輝く未来社会へ
- ・ SDGs達成・SDGs+beyondへの飛躍の機会
- ・ Society5.0実現に向けた実証の機会
- ・ 日本の飛躍の契機に

目的

- [テーマ]
- ・ いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing Future Society for Our Lives)
- [サブテーマ]
- ・ Saving Lives (いのちを救う)
 - ・ Empowering Lives (いのちに力を与える)
 - ・ Connecting Lives (いのちをつなぐ)

手段（何をやるのか）

[事業コンセプト] People's Living Lab（未来社会の実験場）

世界との共創

公式参加
パビリオン

公式行事

テーマ実践

テーマ事業

「TEAM EXPO
2025」プログラム

テーマフォーラム

日本館

自治体等の出展

民間パビリオン

催事

未来社会ショーケース

未来社会
ショーケース
事業

バーチャル万博

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

| サブテーマ 一つ以上を選択 | 公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例 | | SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む |
|---------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 個人の実践、自分自身の意識改革、啓発による気づき | コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組 | |
| Saving Lives (いのちを救う) | 生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活等 | ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減等 |  |
| Empowering Lives (いのちに力を与える) | 自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び等 | 遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資等 |  |
| Connecting Lives (いのちをつなぐ) | デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応等 | オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング等 |  |

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

未来社会ショーケース事業 ～アイデアを会場で実装～

- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、幅広い参加を呼びかけながら、イノベーティブなアイデアを会場で実装していくための取組を展開する。
- 事業の実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費に加え、政府等の支援、民間企業の協賛等の協力を得て行う。



未来社会ショーケース事業

未来社会ショーケース事業は、2025年より先の未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証と、2025年の万博にふさわしい先端技術・社会システムの実装の二つのレイヤーを念頭に実施を検討しています。

| | | | |
|--------------------------------|--|--|--|
| <p>スマート モビリティ万博</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・会場アクセスバス ・会場内・外周トラム ・会場内パーソナルモビリティ ・ロボット (物流、清掃) ・空飛ぶクルマ <p>等</p> | <p>アート万博</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターワールド水上ショー ・大屋根プロジェクションマッピング ・静けさの森インスタレーション ・パブリックアート ・パレード&ストリートパフォーマンス <p>等</p> |
| <p>デジタル万博</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者エージェント、XR案内 ・自動翻訳システム ・高速大容量通信環境 ・大型映像、サイネージ <p>等</p> | <p>グリーン万博</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーマネジメントシステム ・水素発電等の水素エネルギー等技術 ・DACCSやメタン回収等のCO2回収・利用技術 ・次世代太陽電池やバイオマス発電等の再生可能エネルギー技術 ・ごみゼロ・食品廃棄ゼロ・ファッションロスゼロに資する技術や仕組み <p>等</p> |
| <p>バーチャル万博</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル会場 ・XR演出 ・サイバー万博 (仮称) <p>等</p> | <p>フューチャー ライフ万博</p> <p>フューチャーパークを拠点に、様々なアイデアを実装するインキュベーション型事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・未来の都市、住宅、環境、交通、文化 (フューチャーパーク) ・未来のヘルスケア (健康医療等データ利活用、医療機器・福祉用具 等) ・未来の食 (フードテック、自動化、食文化 等) ・未来への行動 (TEAM EXPO 2025ベストプラクティス展示) |

今後のスケジュール

「基本計画」に基づき、各国への参加招請活動と企業等への参加招請活動を展開し、参加と共創を促進するとともに、各分野毎に詳細な計画を1～2年かけて作るフェーズへ入っていく。

